

外国人就労者38人に 安全衛生責任者教育

前田道路

前田道路は7月22―24日、外国人就労者支援の一環として、名古屋市内で安全衛生責任者教育を実施した。中部支店管内の協力会社に所属する外国人就労者38人が受講した
写真。

冒頭、岡田啓源中部支店長は「安全意識を高め、安全第一で特定技能2号を目指して

ほしい」と呼び掛けた。

本店工務課のロックウエル・アンジェロ・ガルシア氏が講師を務め、同社が作成した母国語テキストを使いながら特定技能2号評価の試験対策を行った。合わせて、建設キャリアアップシステム(CCU S)を説明し、カードタッチや顔認証のやり方を確認した。同社は、11月までに10支店で計7カ国150人の外国人技能者を対象に安全衛生教育を実施する予定だ。これまでに北海道、東京、西関東で行っており、中部は4回目の開催となる。

